

神奈川大学国際常民文化研究機構 第1回国際シンポジウム 「海民・海域史からみた人類文化」

日時: 2010年3月27日(土) 10:00~17:30 2010年3月28日(日) 10:00~17:30

場所: 神奈川大学16号館セレストホール

趣旨: 日本常民文化研究所は、1921年渋沢敬三が創設して以来、漁業史、民具研究を柱にその調査研究を重ねてきました。このたび、文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点」に日本常民文化研究所を拠点とする国際常民文化研究機構が認定されました。その発足にあたり従来の研究蓄積を踏まえ、地球面積の大部分を占める海域とそこに関わる人々、海民の生活文化に焦点をあて、人間と自然とのこれまでの相互関係を検証し、この21世紀、共に地球に生きる方途を考える機会として、国際シンポジウムを企画しました。

第一日目: 第1部 国際シンポジウム「漂うクジラー”ヒト”・”カミ”・”自然”共生の試金石」

コーディネーター: 小松正之 政策研究大学院大学教授 安室 知 神奈川大学教授

基調講演

C.W. ニコル「勇魚の人々」ナチュラリスト・作家

秋道 智彌「クジラとヒトの民族誌」総合地球環境学研究所副所長

パネリスト報告(使用言語 日本語・英語 同時通訳)

Arne Borge「ノルウェイ捕鯨の歴史と文化」ノルウェイ海洋研究所上席研究員

江上幹幸「インドネシアの生存捕鯨」沖縄国際大学総合文化学部教授

Luis A. Pastene「チリの捕鯨歴史」財団法人日本鯨類研究所研究部長

荒野泰典「人類史としての捕鯨史構築」立教大学教授

Stuart M. Frank「人類文化としての捕鯨資料」ニュー・ベドフォード捕鯨博物館

児矢野マリ「国際法からみた捕鯨問題」北海道大学教授

総合討論

コーディネーター: 小松正之 政策研究大学院大学教授 安室 知 神奈川大学教授

第二日目: 第II部 個別報告「海民社会と漁業—東アジア世界から—」

コーディネーター: 田島佳也 神奈川大学教授 小島孝夫 成城大学准教授

午前の部「捕鯨と地域社会」

児島恭子「アイヌ民族の捕鯨文化」早稲田大学講師

中園成生「鯨絵巻からみる捕鯨法」長崎県生月町博物館学芸員

櫻井敬人「『鯨の町』の博物館」太地町鯨博物館学芸員

田上 繁「鯨の墓—小山家文書から」神奈川大学教授

午後の部「海民・海域史への展望」

コーディネーター: 安室 知 神奈川大学教授 中野 泰 筑波大学准教授

伊藤康宏「近世漁村の成り立ち」島根大学教授

田和正孝「漁場利用の生態」関西学院大学教授

後藤 明「造船技術からみた海民文化」南山大学教授

李 根雨「韓国明太子漁業の始末」釜慶大学教授

高 光敏「東シナ海域圏漁具の比較研究」済洲大学校学芸員

韓 興勇「魚食の展開と中国漁業」上海海洋大学教授

主催: 神奈川大学国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所

*内容につきましては、変更の場合もございます

お問合せは、日本常民文化研究所 TEL:045-481-5661 (内線 4358)

神奈川大学日本常民文化研究所論集26

『歴史と民俗』26

●2010年1月発行予定 平凡社

●特集: 歴史と民俗の語り方

解題: 小馬 徹

・極東の「フロンティア」—米国人歴史家が語る冷戦期の琉球と台湾(泉水英計)

・無文字社会の「神話」と「歴史」再考—キプシギス人の歴史意識の政治学(小馬 徹)

・遠野の歴史と語り—宮家と大同家の起源(宮本直和)

・中世料理伝書と口伝(越智信也)

●講座: 犁から見たアジアと日本

・「犁から見たアジアと日本」のねらい(河野通明)

・西アジアの牡牛二頭引き犁と農業の諸制度(後藤 晃)

・中国漢代画像石に見られる犁型の諸問題(渡部 武)

・中国朝鮮族の犁—犁の系統と使用方法を中心にして(須藤 護)

・朝鮮・在来犁の分布と歴史的展開(新納 豊)

・民具から見た日本への犁耕の伝来時期と伝来事情(河野通明)

・近代における犁の普及について(香月洋一郎)

・「犁から見たアジアと日本」を終えて(河野通明)

●研究ノート:

・気仙沼大島の漁業制度改革—大島村の調査と組合文書から(鈴木江津子)

●資料紹介:

・アチックミュージアム日誌(6)昭和十六年一月~六月(窪田涼子)

研究協力者紹介

研究協力者として、新たに以下の2名の方々をお迎えいたしました。

名 前	所属部局	職 名	研究班
アレクサンドル・マンジャン	立教大学ランゲージセンター	教育講師	マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引の編纂
中井 真木	東京大学大学院総合文化研究科	博士後期課程	マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引の編纂

非文字資料研究 No.23

発行日 2010年1月10日発行

編集・発行 神奈川大学 非文字資料研究センター

Research Center for Nonwritten Cultural Materials,
Institute for the Study of Japanese Folk Culture, Kanagawa University

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

■Tel.045-481-5661 ■Fax.045-491-0659 ■URL <http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>

